分野	43	産業
施策	431	商工業･観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業･観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目				決算額(円)	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**創業支援事業**	一般	7	1	2	864,873	**商工観光課**

事業の概要

創業者の増加は市内商店の増加だけではなく、課題となっている空き店舗対策や、小売店増加による市民の生活基盤安定等、地域経済の活性化や生活基盤の安定にも繋がるものであることから、創業支援計画に基づいて、創業･起業希望者の支援を行います。

平成28年度の取組

D（取組）

指標		新規創業相談者数				単位	人／年
現　状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
平成28年度新規事業	目標	70	85	100	115	130	
	実績	89					

指標		新規創業者数				単位	人／年
現　状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
平成28年度新規事業	目標	25	30	35	40	43	
	実績	6					

・窓口相談、広報紙、市ＨＰ等を通して、創業希望者に､創業支援制度の周知を図りました。
・創業支援機関と、連絡会議等を開催し、情報共有を図りました。
・創業支援機関と連携しながら、創業希望者向けイベント(ビジネスカフェ)を３回開催しました。
・長岡京市新規創業者支援共同事務所設置事業として､長岡京インキュベーション・スペース「あいことば」の設置に対し、567千円の支援を行いました。

施策の｢5年後の目標｣に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	新たな起業者数(新規･廃業)	経済センサス基礎調査は、5年に一度、商業統計調査は経済センサス活動調査実施の2年後に実施することとなっています。	206

達成度合	達成状況
B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	・新規創業相談者数は目標値に達しています。新規創業者数の実績については、平成28年度は目標値に達することは出来ませんでしたが､今年度の相談者が来年度以降に創業を実現することが期待できます。

課題等

・相談者に対し、新規創業に係る相談から実際に創業を開始するまでの各段階に応じたフォローアップが必要です。

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	・創業支援機関と連携しながら、相談者に対し､新規創業に係る相談から実際に創業を開始するまでの各段階に応じたフォローアップを充実させていきます。

分野	43	産業
施策	431	商工業･観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業･観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
商工会支援事業	一般	7	1	2	19,168,000	**商工観光課**

事業の概要

地域商工業の発展や、中小企業の育成を推進するため、商工会の組織強化と実施する経営指導や人材育成など各種事業を支援します。また、高齢者や子育て世帯へのプレミアム付き商品券事業の新たな展開を図るとともに、「婚活」事業にも支援を行い定住促進に繋げます。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	商工会員数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
1,084（平成26年度）	目標	1,140	1,150	1,140	1,150	1,160	
	実績	1,112					

・中小企業者への経営改善指導、地域振興策への支援を行うため、経常的経費に12,461千円、特別事業費に6,707千円の支援を行いました。
・特別事業費については、地域経済活性化対策事業費として、プレミアム付き商品券事業や、人材育成補助事業、小売店舗改装（築）事業、販路開拓支援補助事業、創業促進補助事業等、地域経済の活性化に対する取組みへの支援を進めました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	市内民間事業所数･従業員数の推移	経済センサス基礎調査は、5年に一度、商業統計調査は経済センサス活動調査実施の2年後に実施することとなっています。	206

達成度合	達成状況
B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	・商工会の組織強化対策として加入促進のための職員を新たに1名配置し、会員増強に努めましたが、会員数は、平成27年度比3件の減少（40件の増加、43件の減少）となりました。退会理由については、高齢化等による廃業が主な内容であり､廃業者数に対し、新規創業者数が伸び悩んでいることが原因と推察されます。

課題等

・既存事業所への経営支援の充実を図るとともに、新規創業希望者への支援についても、平成28年度設置のインキュベーション施設の積極的な活用を図り、潜在化された人的資源の発掘や既存創業者への経営発達及び革新に伴う更なる支援を進め、会員数増加につなげていくことが必要です。

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・商工会が実施する新たな支援事業等について、協議、調整、連携を図り､必要な支援を継続的に実施します。 ・新規創業者数を増加させることが、商工会員数の増加につながることから､新規創業者への支援の充実を図ります。

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**企業誘致の促進**	一般	7	1	2	2,727,940	**商工観光課**

事業の概要

既存企業や事業所の動向を注視しつつ、京都府や長岡京市経済協議会との情報共有を図るとともに誘致促進に向けた体制を整えるため、特に東部工業地域における農家の意向調査や土地所有者への情報提供を行い、誘致施策に取り組みます。

平成28年度の取組

D（取組）

指標		企業進出に係る相談件数				単位	件
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
5（平成22～26年度累計）	目標	2(2) ※()内は期間累計	2(4)	3(7)	3(10)	4(14)	
	実績	5(5)					

指標		5年間で企業立地促進助成対象となった企業数（累計）				単位	件
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
1（平成26年度単年度助成対象企業数）	目標	1	1	2	2	3	
	実績	1					

・企業誘致に関する相談内容について、カルテを作成し、関係部署等と情報の共有化を図りました。
・副市長を座長とする連絡会議を開催し、用地に関する情報収集及び情報提供方法について、協議を進めました。
・長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則に基づき、助成金を交付しました。
（参考）
操業支援助成金　1,127,000円
地元雇用促進助成金　1,600,000円

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・企業進出に係る相談件数及び企業立地促進助成対象となった企業数については、目標値を達成できました。
課題等	・企業進出に対するニーズが高まるなか、用地について、情報開示できるための整理ができていないことが課題です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・市関係部局内で情報の共有化を図り、新たな種地となる用地の情報収集に努めます。 ・京都府、関係機関等と連携を図り、新規事業者の把握を行います。

分野	43	産業
施策	431	商工業･観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業･観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目				決算額(円)	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**産業文化会館維持･更新事業**	一般	7	1	3	21,476,066	商工観光課

事業の概要

老朽化が著しい産業文化会館について、建替えや移転、複合施設への再編など商工会や会館運営委員会との協議･検討を進めるとともに、公共施設検討会議の中でも優先課題として検討を進めます。
なお、修繕対応については計画的に取り組み、施設の維持管理を適切に行います。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	産業文化会館年間利用者数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
70,963（平成22～26年度5か年平均）	目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000	
	実績	80,960					

・今後の産業文化会館の在り方について、商工会等と調整を進め、産業文化会館運営委員会を開催し、複合化に向けた課題の整理を行いました。
・苦情や備品の故障等、日々の事象に対応する中で、安全性を重視し、優先順位を付けながら、修繕を実施しました。（自動火災報知設備修繕、大会議室スポットライト修繕、自動ドア修繕、受水槽及び屋上露出管修繕等）

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・老朽化が著しい施設であるが、計画的な修繕を実施した結果、利用者の安全性が確保されたこともあり、目標値を達成することができました。
課題等	・利用者数を維持または増加させるためにも、複合化に向けた課題を整理しつつ、より計画的かつ効率的な修繕を行うことが必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	・今後の産業文化会館の在り方について、商工会等と調整を進めていくとともに、産業文化会館運営委員会から生じた意見等を踏まえ、複合化に向けた課題の整理を続けます。 ・修繕計画をより明確に整備し、緊急で対応すべき事象に臨機応変に対応しながら、より計画的かつ効率的な修繕を行います。

分野	43	産業
施策	431	商工業･観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業･観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**観光戦略プランの見直しと推進**	一般	7	1	4	10,044,000	**商工観光課**

事業の概要

観光戦略プラン推進本部会議を本市の観光施策展開におけるシンクタンクと位置付け、マーケティング調査結果や各種事業結果の分析に基づいたアクションプログラムの見直しを行います。また、包括的な視点で進捗管理を行うことで、より魅力的なまちづくりと効果的な観光誘客促進につなげます。

平成28年度の取組

D（取組）	指標	観光戦略プラン及びアクションプログラム見直し					単位	―
	現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
	平成17年度策定	目標	観光戦略プラン及びアクションプログラム見直し	※平成28年度見直しの観光戦略プラン及びアクションプログラムに基づく指標設定	―	―	―	
		実績	新･長岡京市観光戦略プランの策定					

・平成17年度に策定された「長岡京市観光戦略プラン」の見直しを行うため、平成28年度に「新・長岡京市観光戦略プラン」策定委員会を設立し、本市の持つ観光素材のポテンシャルを最大限に引き出すことで、本市の魅力を高め、交流人口の増加、ひいては定住促進につながる観光施策展開を進めることを目的に検討を行い、「上質な“郊外の京”の暮らしで魅せる　観光まちづくり」を観光振興方針とした「新･長岡京市観光戦略プラン」を平成29年３月に策定しました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
		観光入り込み客数･一人あたり観光消費額（年間）	インフラ整備の充実により、観光消費額も並行して微増しており、今後も増加が見込まれます。	205

	達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・社会環境が変化する中で、長岡京市が目指す観光のあり方を捉え直し、観光振興に係る今後の方針を明確にし、体系的に施策を占める「新・長岡京市観光戦略プラン」を策定しました。 また、「新・長岡京市観光戦略プラン」でアクションプログラムを定め、その進捗管理の為の「進捗管理手帖」の様式作成を行いました。
	課題等	・「新・長岡京市観光戦略プラン」を着実に推進するために、各主体がプランにあった事業の目標達成管理を行えるよう「進捗管理手帖」を活用し、情報共有を行います。 ・新たな観光創造を担う事業者・人材の発掘を継続的に行います。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）	方向性	対応策等
	1：計画通りに進めることが適当	・長岡京観光まちづくり協議会の中核となる「長岡京市観光推進本部」を設置し、新・長岡京市観光戦略プランを着実な進行管理を行います。 長岡京市内の主体が「観光のまちづくり」に取り組む基盤を作るために、新たなプランに基づいた動きをする店舗・事業所（新たな観光創造を担う人材）を発掘します。 ・新たな観光商品やサービスの企画･開発を行うためのチームづくりを行っていく場として「観光創造部会」を設置します。

分野	43	産業
施策	431	商工業･観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業･観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
観光誘客のための環境整備事業	一般	7	1	4	77,509,372	商工観光課

事業の概要

観光バス駐車場（待機所）の計画的な整備や、物流･販売･にぎわい創出拠点としての農･商･観連携による「道の駅」的施設の設置検討を行うなど、観光誘客インフラ整備の充実を図ります。また、高速バス停や阪急西山天王山駅などを活用した新たな誘客･消費システムの構築に向けた各種事業の展開を図ります。
併せて乙訓二市一町や京都府北部、京都市などと「広域連携」をキーワードに広域的な事業展開を図ります。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	道の駅的施設設置					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
庁内ワーキンググループでの検討（平成27年度）	目標	マーケティング調査実施及び外部設置検討委員会設立	基本構想の策定及び調査設計実施	実施設計実施及び工事着手	道の駅的施設の竣工及び施設運営委員会設立	―	
	実績	長岡京市道の駅的施設整備基本構想の策定					

・地産地消システムや地域経済の好循環サイクルを生み出すための拠点整備に向け、市内の関係団体、事業者、市民等に道の駅的施設に望む機能、立地場所、運営への参加に対する関心等について、アンケート調査及びヒアリング調査を実施しました。
・基本構想の策定段階において、適地選定や施設規模、運営方針など、今後につなげるための各種マーケティング調査を行います。
・道の駅的施設整備基本構想を平成29年３月に策定しました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・長岡京市道の駅的基本構想を平成２９年３月に策定しました。 ・また、長岡京市道の駅的施設基本計画策定時に活用することを見据えて、市内の関係団体、事業者、市民等にアンケート調査及びヒアリング調査を実施しました。
課題等	・道の駅的基本構想策定時に、各種関連団体へのアンケート調査及びヒアリング調査を実施したが、さらに具体的な内容を商業団体、観光団体、農業団体と調整を行う必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
2：進め方の改善の検討が必要	・専門部会を立ち上げ、意見の集約を図ります。 ・関係部局と情報共有を行います。